

第26号
TOPIX

- 1 卓球・バドミントン大会
 - 2 15WKC 世界大会を終えて(剣道)
 - 3 えひめ国体に向けて(相撲)
 - 4 ダイキ弓道部(弓道)
- 武道館からのお知らせ

■愛媛県武道館

開館時間：午前9:00～午後9:00

休館日：毎週月曜日(月曜日が休日の場合は、直後の休日でない日)

住所：愛媛県松山市市坪西町551番地

TEL：089-965-3111 FAX：089-965-3388

ホームページ：<http://www.ehimekenbudoukan.or.jp>

予約システム：https://www.pref.ehime.jp/s_yoyaku/servlet/Top

平成24年度 愛媛県武道館

バドミントン・卓球大会



日時：平成25年3月26日(火)
9:00～13:00

参加資格：高校生以上の男女

募集数：バドミントン(ダブルス)18組・卓球(ダブルス)36組

※定数に達した場合は締切ります。

参加料：1人500円(1チーム1,000円)

申込期間：平成25年3月19日(火) 17:00 締切り

自分の力を試してみませんか？ 目指せ頂点！！

5月末、剣道の世界大会が閉幕した。今回はイタリア、次回は45年ぶりに日本開催となる。県大会1回戦負けなんて当たり前すぎた私が、「世界・全日本」などのキーワードを口にしていてなんて本当に笑いが出てきそうである。それぐらい弱かったし剣道を辞めたかった。幼い頃から体を動かすことが大好きだった私は、なんでも果敢に挑戦する少年のような女の子であった。それは今でも変わっていないと思う。そのため、球技に憧れていた中学時代は、仲がいい友人に引っ張られて剣道部に嫌々入部した。剣道を辞めたいと一番思った時期に私を支えてくれたのは、家族同然の友人たちであると本当に感謝している。また、好奇心旺盛な性格からか、さまざまなことに興味を持った。特に海外には興味があり、異文化交流と題して、現地の友だちを作っては遊びにむかった。「長期で海外へ…」との思いが強くなる中、舞い込んできた全日本メンバー入り。「全日本なんて私がいくとこじゃないから」と言っていた私の背中を押したのは母だった。このように、やる気がなかった私を引っ張ってくれた仲間、今しかないチャンスに挑戦させてくれた母、選手生命を延ばしてくれた指導者の先生方、そして支えてくださる周囲の方々、健康でいられる自分と平和な毎日、すべてに対して心の底から「感謝」の思いで溢れている。

地元である愛媛県に帰ってきて1年が経とうとしている。社会人1年目の数ヶ月は稲妻のように過ぎ、教員として教壇に立つ責任感、日の丸を背負って試合に臨む重圧、慣れない生活の中で幾度となく自分を見失いそうになった。体調も頻繁に崩し、自己管理不足の自分に対しても嫌気がさしていた。4月の合宿では1人出遅れ、合宿後に全日本の先生から「今回は黒河1人が取り残されたように感じた」と言われるぐらいであった。このままではやばい…と焦った感覚は今でも覚えている。こんな日々を送る中で、諦めかけた仕事と競技との両立に対して、「負けてられない…」とやる気になったのは、間違いなく文武両立を掲げる東高生たちのおかげであると思う。

世界大会本番一。体調に加え、精神面でも不安定なままイタリア入りした私は、2週間の調整でなんとか試合へ向けて状態を立て直していた。大会本番を目前にした私は、緊張と言うよりワクワクする気持ちのほうが勝っていた。初めて経験する大舞台は、なぜか初めて行くお祭りのように私の胸を躍らせた。試合は、予選リーグから合わせると合計8試合。ブラジル、チリ、オランダ、アメリカ、フィンランド、韓国、日本といった7カ国の選手と剣を交えることとなった。普段と違った会場の雰囲気、ヨーロッパのサポーターが多い中、自分の剣道を最後まで貫き通そうと心に誓った。午前9時に個人戦から始まった女子の試合は、女子団体戦が終了する頃には午後の21時をまわっていた。個人的な試合結果は、個人戦の決勝で佐久間選手(山形県)に見事な出小手を奪われてしまったが、私の中では悔しさというより、出し切った爽快感で溢れていた。そして2位だった結果に対して、いろんな意味でホッとしている自分がいた。その理由は、勝って当たり前だと思われている日本選手ならではのプレッシャーである。日本人選手と対戦していい技が出たり、延長戦になろうものなら会場が異様な雰囲気包まれる。「負けるわけにはいかない。せめて日本人選手がいる準決勝まではいかななくては…」という思い

は、個人戦に出場していた4人の選手にもあったと思う。負けた相手が日本人選手であったことに少し安堵の気持ちがあった。そして結果が出たことに加え、私の中にはもう一つ得たものがあった。それは、現役選手として剣道が続けるということである。私は全日本メンバーに入ってからずっとイタリア大会を目指して思いを懸けてきた。そのため、今大会を最後に、競技の第一線を退こうと考えていた。これは結構本気で考えていたことである。そんな思いがあったからこそ、私にとっての今大会での一番の収穫は、「競技として剣道が続けるきっかけをもらった」ことではないかと思う。いつも私は2位や3位ばかり、誰かの後ろを歩いてきた。全日本メンバーの中でも、全国的な大会でのタイトルがないのは私1人である。加えて、団体戦の日本選手の試合ぶりを見て、団体戦に出たいなあ…なんて欲をもったりもした。こんな中途半端なところで終わっていいのか?と自問自答。いろいろと悩み考え、イタリアの夜で静かな決意を固めた。



世界選手権全日本メンバー(下右から2番目黒河選手)

白夜のため、ヨーロッパの夜は日がなかなか沈まなかった。イタリアに滞在中は、男女関わらず、全日本メンバーとよく飲んだ。雑誌で見たことがある人たちばかり。トップレベルの選手たちの意外な顔、想像と違ってびっくりすることもあったが、みんな尊敬している。この中に入れてもらえて、彼らと出会うことができ、本当に幸せだと思った。そして改めて、「剣道が続けていてよかった」と、いろんなところで支えてくださった方々に対する感謝の思いが尽きない。「黒河とは未知との遭遇。(笑)お前はまだ発展途上。伸びしろがあるぞ。」こう言ってくれたのは、全日本女子監督である宮崎正裕先生である。宮崎先生には、こんな私を選手として選んでくれ、信頼を置いてくれたことに感謝である。タイトルはとれてない、まだまだ発展途上…私の挑戦はもう少し続くのかなとひそかに思った。

現在松山東高校で教員生活一年日を送っている。右も左もわからない新米教員であるが、何が起るか分からない毎日は私にとって冒険の日々である。指導され、注意をうけることがあっても、すべて自分の力になる、そう信じて魅力ある教員を目指したい。そして、教員として、選手として、そしてひとりの女性として、妥協せず、輝いて生きたいと思っている。今の私があるのは、様々なところでご支援してくださった多くの方々のおかげである。皆様心の底から感謝をし、この場を借りて御礼申し上げます。

えひめ国体に向けて

師走の日曜日、愛媛の相撲界に嬉しいニュースが飛び込んできました。平成24年12月2日、両国国技館で開催された全日本小学生相撲優勝大会で井上太陽（いのうえ たいよう）選手（宇和島市立岩松小学校：5年）が準優勝に輝きました。

そこで、大会を終えた井上選手に質問をしてみました。

Q：今大会を振り返って、感想を聞かせてください。

A：初戦は緊張しましたが、勝ち上がる毎に体が良く動き、大きな相手にも怯まず練習どおりの相撲を取ることができました。

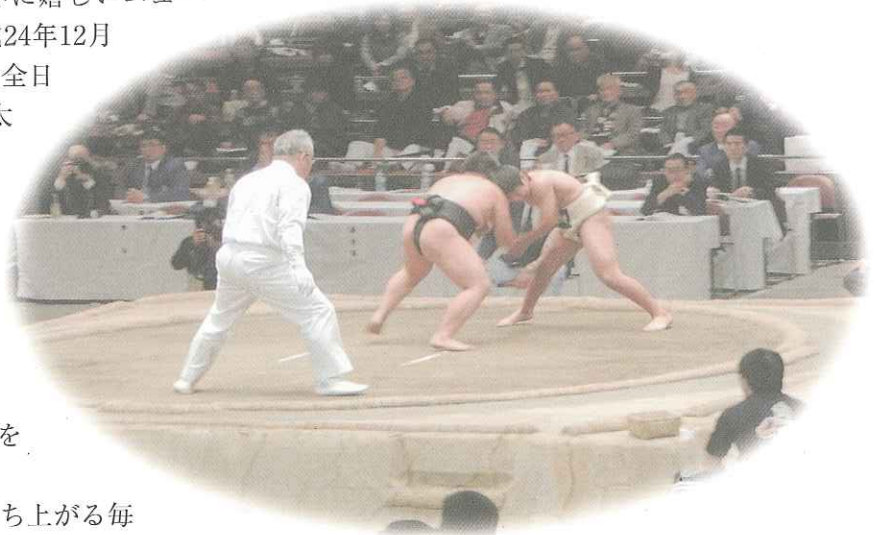
Q：普段の練習は、どのようにしていますか。

A：普段は、サッカー、少林寺拳法、柔道をやっているのですが、毎日相撲の練習をすることはできません。大会前は、津島高校で高校生に胸を借りて練習をしました。高校生と練習をしたので、大きな相手が苦にならなくなりました。

Q：相撲以外の競技もやっているようですが、これからの目標を聞かせてください。

A：来年は、今まで以上に練習をして日本一になりたいと思います。それから先のことはわかりませんが、相撲を続けていたら「えひめ国体」に出場して優勝したいと思います。

小学生らしい回答をいただきましたが、質問の回答にもあるように、多種多様なスポーツに取り組んでいる様子は何えることや、全国大会での活躍がものごといているように、身体能力の高さや運動神経の良さが井上選手の魅力であります。



決勝戦

これからの目標にもあるように日本一を目指して頑張ってもらえる環境づくりを整え、井上選手のように将来性のある選手を愛媛県相撲連盟の強化指定選手として、強化のサポートを行うとともに、2017年に開催される「えひめ国体」の中心選手として活躍してもらえるよう全面的にバックアップしていく必要性を感じています。

えひめ国体における少年の部は5人制であり、今年から小学6年生、中学1・2年生を4年間でどう育成していくか、また、チームの中心的な核となる選手を育てられるかなどの課題をクリアし、連盟としての強化への取り組む姿勢が「えひめ国体」での得点を挙げるカギになると言えます。

このようなことから、ジュニア世代の計画的な育成を視野に入れて、底辺の底上げに努めていきたいと思っています。

執筆／愛媛県相撲連盟

常任理事 松下 功次



井上 太陽 選手



ダイキ弓道部

私達ダイキ弓道部は、今年で創部20年、全国唯一女子のみの実業団チームとして、全国優勝を目指し、日々練習に励んでおります。



昨年は、6月に東京都小金井市で開催された、国体のリハーサル大会「第59回全国勤労者弓道選手権大会」で3位となり、創部以来初の3年連続入賞を果たしました。

同10月には、東京都明治神宮至誠館で開催された「第60回全日本実業団弓道大会」で、産業別の部で優勝、女子団体が2位入賞を果たしました。また、この大会では、昨年60回目の記念大会を迎え、「長年に亘り全日本実業団弓道連盟の事業に積極的に参加貢献した」として、事業所表彰を頂きました。

しかしその一方、4年後の「えひめ国体」を目前とするなか、3年連続国体四国ブロック予選敗退という大きな課題も残しております。

昨年10月をもって前主将・橋本早苗の引退もあり、部内の体制も大きく変わりました。その中で

部員1人1人が「自分がダイキ弓道部を引っ張るんだ!」という強い気持ちで取り組んでいます。新体制となり今シーズンは、石田亜希子監督・安部峰康コーチのもと、原田喜美子・山内絵里加・小早川貴子・北風磨理の4人で、勤労者・国体・実業団の3冠を目標に少数精鋭ではありますが、お互い切磋琢磨して、新しいチームを作りあげていきます。



最後になりましたが、ダイキ株式会社の大亀孝裕会長をはじめ、ダイキ弓道部を応援して下さいの方々への感謝の気持ちを忘れず、大亀会長の精神「スッテモ ムイデモ」の言葉の通り、ダイキ弓道部員も「スッテモ ムイデモ」精神で、これからも努力精進して参ります。

今後とも、ダイキ弓道部をよろしくお願い致します。

執筆 / ダイキ株式会社 弓道部
原田喜美子

愛媛県武道館からのお知らせ

駐車場が有料になります!!

来る5月10~12日(金~日)は、坊っちゃん球場でプロ野球公式戦が開催されるため、中央公園内駐車場は、終日有料となります。

また、交通の混雑が予想されますので、ご来館の場合は、できる限り公共交通機関や自転車、バイク等をご利用いただきますようご協力をお願いします。



教室生発表・体験会

日時:3月20日(水・祝)10:30~12:30(予定)

場所:愛媛県武道館 剣道場

※体験会はどなたでも自由にご参加いただけます。

武道入門講座「はじめての柔道・空手道編」

日時:3月23日(土)10:00~11:30

場所:愛媛県武道館 柔道場

※申し込みが必要です。

○武道館では様々な事業を実施しております!詳しくは、ホームページまたは武道館までお問い合わせください。

愛媛県武道館ホームページ



モバイル用



パソコン用